

同志社創立一一一周年

記念募金について

田辺新キャンパスの建設に並行して一九八四年（昭和五九年）一〇月一日から進めてきました「同志社創立一一一周年記念募金」は一九八七年（昭和六二年）九月末をもって三年間の寄付金募集期間を満了、同時に私学振興財団扱いの免税取扱いも終了しました。但し、残務につきましては引きつづき一九八九年（平成元年）三月三十一日まで取扱いを継続しました。

募金の実績は別表の通りであります。

寄付資金による建築は、①デイヴィス記念館（講

堂兼体育館・総工費二一・四億円）、②新島記念講堂（チャペル・総工費一一億円）がすでに完成、③国際交流、総合研修、演習センター（仮称）については、四億円を建築資金として、具体的な建設計画は今後早急に策定することになっていきます。④大学、女子大学の教育設備拡充事業については、大学へ一八六、五六一、一一一円（二、六〇四件）を大学田辺校地体育設備充実資金として、また女子大学へは七、五〇〇、〇〇〇円を女子大学田辺校地設備充実資金（パイプオルガン設置費の一部）として配分しました。

⑤ 国際高等学校教学体制整備事業については、二九、八一〇、〇〇〇円を国際高等学校施設充実資金として配分しました。

本募金事業に寄せられました各界篤志家の皆様、

卒業生ならびに教職員の一方ならぬご尽力と温いご支援に対し深甚の謝意を表します。

学校法人 同志社

(本 部 理 事 長 室)

同志社創立一一一周年記念募金

一、実績総括表

一九八九年三月三十一日(終了)

| 総計 | 人 | | | | | | 法人 | | 区分 | 目標値 | 寄付額 | 実績率 | |
|-------|---------|------------|----|-----|---------|----------|-------------|-------|--------------|-------------|--------------|-------|------|
| | 合計 | 他職員 | | | 卒業生 | | | 校友法人 | | | | | 一般法人 |
| | | 小計 | 一般 | 教職員 | 父 | 同窓 | 校友 | | | | | | |
| 五、〇〇〇 | 一、五〇〇 | 一〇〇 | | | 一、一〇〇 | 〇〇〇 | 三、五〇〇 | 三、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 七、七・三 | |
| | 二、七六九 | 五三三 | | | 一、六、五七七 | 一、一、二六六 | 一、五、三七九 | 三三件 | 三、三九、九五五、〇〇〇 | 一、七六、一六、〇〇〇 | 二、四六、〇九六、〇〇〇 | 一、三、四 | |
| | 一、六、七七一 | 三三三 | | | 一、二、九一〇 | 四、三三、三九三 | 三、七、一三七、九〇〇 | 一九九 | 二、三九、九五五、〇〇〇 | 一、七六、一六、〇〇〇 | 二、四六、〇九六、〇〇〇 | 一、三、四 | |
| | 一、六、七七一 | 九四、二五八、四八一 | | | 一、二、九一〇 | 四、三三、三九三 | 三、七、一三七、九〇〇 | 一九九 | 二、三九、九五五、〇〇〇 | 一、七六、一六、〇〇〇 | 二、四六、〇九六、〇〇〇 | 一、三、四 | |
| | 一、〇五・七 | 九四・三 | | | 一、〇二・七 | 一、三、四 | 一、五、三七九 | 三三件 | 三、三九、九五五、〇〇〇 | 一、七六、一六、〇〇〇 | 二、四六、〇九六、〇〇〇 | 一、三、四 | |
| | 二・三 | | | | 一、〇二・七 | 一、三、四 | 一、五、三七九 | 三三件 | 三、三九、九五五、〇〇〇 | 一、七六、一六、〇〇〇 | 二、四六、〇九六、〇〇〇 | 一、三、四 | |